

## 肥満を伴った 2 型糖尿病治療

肥満を伴った 2 型糖尿病治療では、食事療法や運動療法による体重コントロールが非常に大切です。また、薬物療法において、体重を増しにくい薬剤を選択することも重要です。以下に体重減少効果が期待される薬剤を紹介致します。

### ① SGLT2 阻害薬

腎臓でぶどう糖の再吸収を抑え尿に排泄させるため血糖値が改善し、体重減少効果も期待されます。糖尿病だけではなく、慢性心不全や慢性腎臓病にも適応があるものがあります。

### ② GLP-1 受容体作動薬、GIP/GLP-1 受容体作動薬

GLP-1 と GIP はインクレチンと呼ばれるホルモンで、主に食後の血糖値が上昇した時に効果を発揮します。GLP-1 受容体作動薬はこの GLP-1 とよく似た構造の薬剤で、食欲を抑える作用もあり、体重減少効果が期待されます。GLP-1 受容体作動薬には、週 1 回注射薬の(オゼンピック®)や内服薬(リベルサス®)もあります。昨年、GLP-1 と GIP の両方の作用のある週 1 回注射薬の持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬 (マンジャロ®) が使用可能となりました。



上記薬剤は体重減少効果が期待され、肥満を伴った 2 型糖尿病治療に有用です。しかし、どんな薬剤でも副作用やデメリットがあるため、専門の医師とよく御相談下さい。

糖尿病・内分泌内科 教授 青木一孝

リピーター多数！

管理栄養士による  
ひとりひとりに合った食事指導

# 糖尿病・内分泌内科

血糖値、HbA1c、脂質検査、尿酸等は当日に結果が出る他、動脈硬化を測定する脈波伝導速度も実施中

まずはお気軽に  
ご相談ください

主に糖尿病、脂質異常症、  
高尿酸血症、甲状腺疾患に  
対する診療を行っています。



糖尿病は、血糖値コントロールが不良な状態が長く続くと、合併症(神経障害、網膜症、腎症、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症、歯周病等)が出現します。合併症の出現を予防するには、食事療法、運動療法、薬物療法により血糖コントロールを良好に保つ必要があるため、定期的な通院が大切です。



栄養指導の準備をする青木医師と伊藤管理栄養士

神奈川歯科大学附属病院  
糖尿病・内分泌内科

tel 046-822-8896



リピーター多数

# 管理栄養士による ひとりひとりに合った食事指導

## 血糖値

## 糖尿病 内分泌内科

主に糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、  
甲状腺疾患に対する診療を行っています。  
まずはお気軽にお問い合わせください。

糖尿病は、血糖値コントロールが不良な状態が長く続くと、合併症(神経障害、網膜症、腎症、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症、歯周病等)が出現します。合併症の出現を予防するには、食事療法、運動療法、薬物療法により血糖コントロールを良好に保つ必要があるため、定期的な通院が大切です。



一人一人に合った食事を提案する伊藤管理栄養士と青木医師

血糖値、HbA1c、脂質検査、尿酸等は当日に結果が出る他、動脈硬化を測定する脈波伝導速度も実施中

神奈川歯科大学附属病院  
糖尿病・内分泌内科

tel 046-822-8896

